

ハル・ウィルナー (Hal Willner) 音楽プロデューサー

ハル・ウィルナーは最も独創的な音楽プロデューサーの1人。ポップからジャズ、さらにアバンギャルド・ミュージックなど非常に広範囲に渡るアーティストのなかから逸材を発掘し、意欲的なアルバム・コンセプトを打ち立ててきている。1957年フィラデルフィア生まれ。

1981年にフェデリコ・フェッリーニの映画のための音楽の作曲家として有名なニーノ・ロータのトリビュート・アルバム「アマルコルド」でまず注目される。そして同年アメリカのNBC局による伝説的TV番組「サタディ・ナイト・ライブ」の音楽監督になる。そしてトム・ウェイツ、ダーティ・ダズン・プラスバンド、スティング、ルー・リードなどといった多岐のジャンルにまたがるオールスター・キャストを、クルト・ワイルやチャールズ・ミンガスといったアーティストたちへのトリビュート・アルバムのためにまとめあげている。

1988年にはリンゴ・スターなどの出演したウォルト・ディズニーのアニメのためのトリビュート・アルバム「Stay Awake」で高い評価を受ける。アニメ音楽にしばらく高い関心を示し、ワーナー・ブrosの神話的ヴィンテージ・アニメのためのスコアのコレクション「The Carl Stalling Project」を発表。

ウィルナーはアバンギャルド・ジャズのアルバムを自身の名義でリリースしたり、映画監督ロバート・アルトマンの「カンザス・シティー」、「Jazz 34」のサウンド・トラックを担当したり、マリアンヌ・フェイスフルやウィリアム・S・パロウズといった自由な思想を持つ人々の作品のプロデュースを務めたりしている。アルバム「Whoops, I'm an Indian」では、ブライアン・イーノとデヴィッド・バーンの「ブッシュ・オブ・ゴースツ」のスタイルで、エレクトロニックなダンス・トラックと言葉のコラージュを展開している。